

Table with columns: 事業名 (一般業務), 区分 (定常時, 非常時, 緊急時), 承認 (部長), 確認 (委任課長), 作成 (課長), 課名 (工業課), 作成日 (平成28年 5月31日). Main table grid includes environmental impact categories (安全な生活環境, 自然調和, 地球環境, その他) and assessment results (影響の範囲, 発生頻度, 発生使用量, 市民等要望).

※ 影響規模の(大)に○が二つ以上なくても、課長が著しいと判断した場合は、「著しい環境側面」となります。影響規模の(大)に○が二つ以上ある場合と同様に、「著しい環境側面(重点管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「重」を、「著しい環境側面(日常管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「日」を、そして「目指せエコな市役所」は「エ」と記載します。
※ 「重点管理」は目的・目標を設定し四半期ごとに進捗管理を行い、「日常管理」、「目指せエコな市役所」は半期ごとに進捗管理のみ行います。どちらも「年間計画書」に記載します。
※ 確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスまちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。





事業名	工業振興推進事務 (1/1)	承認	確認	作成	課名	工業課
区分 (いずれかに○)	①定常時 (通常の状態) 2非定常時 (設備・機器の立上・停止・点検・更新) 3緊急時 (地震・火災・事故)	部長	委任課長※	課長	作成日	平成28年 5月31日

事務・事業内容	環境側面 (原因)	環境影響(結果) 次の記号を該当する欄全てに付けます。 ○…有益な環境影響 ×…有害な環境影響														影響規模 各欄ごと該当区分に○を付けます。 (大)に○が2項目以上→判定結果へ								判定結果 重点管理(影響規模に(大)が2項目なくても、 課長が著しいと判断した場合を含む)は「重」、 日常管理は「日」、目指せエコな市役所は「エ」を記載	関連法令 その他の要求事項 (名称を記入します)												
		安全な生活環境				自然調和		地球環境				その他				影響の範囲	発生頻度	発生量		市民等要望																	
		大気 の保全 /汚染	水質 の保全 /汚濁	土壌・ 地下水 の保全 /汚染	騒音・ 振動の 防止/ 発生	悪臭の 防止/ 発生	廃棄物 の抑制/ 発生	人体へ の危険・ 感染防 止/ 発生	緑地保 全・緑 化/森 林・緑 地の減 少	生物種 の保護 /減少	水辺環 境の保 全/悪 影響	温暖化 防止/ 温暖化 (エネル ギー)	天然資 源の保 全/枯 渇	オゾン 層の保 護/破 壊	熱帯林 の保全 /減少			海洋汚 染・資 源の保 全/減 少	日照障 害・光 害	風害・ 電波障 害	有害化 学物質	良好な 景観	歴史的 ・文化 的遺産			市民へ の影響	重大 又は広 域的 (大)	中 程 度 (中)	軽微 又は局 所的 (小)	恒常 (毎日) (大)	月1回 程度 (中)	年数回 程度 (小)	多量 (大)	中程 度 (中)	少量 (小)	多い (大)	中程 度 (中)
																発生量		市民等要望																			
環境配慮型製品の審査・認定	環境意識	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	日	飯田市環境配慮型製品の認定及び支援に関する要綱	
企業人材確保住宅の管理	環境美化活動																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

※ 影響規模の(大)に○が二つ以上なくても、課長が著しいと判断した場合は、「著しい環境側面」となります。影響規模の(大)に○が二つ以上ある場合と同様に、「著しい環境側面(重点管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「重」を、「著しい環境側面(日常管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「日」を、そして「目指せエコな市役所」は「エ」と記載します。

※ 「重点管理」は目的・目標を設定し四半期ごとに進捗管理を行い、「日常管理」、「目指せエコな市役所」は半期ごとに進捗管理のみ行います。どちらも「年間計画書」に記載します。

※ 確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスまちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。

※ この環境記録は部長承認後、各課で保管します。 ※この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。【Filesrv7-share-IS0-年度(各課)-各課】

事業名	飯田産業技術大学事業 (1/1)	承認	確認	作成	課名	工業課																	
区分 (いずれかに○)	① 定常時 (通常の状態) 2 非定常時 (設備・機器の立上・停止・点検・更新) 3 緊急時 (地震・火災・事故)	部長	委任課長※	課長	作成日	平成28年 5月31日																	
事務・事業内容	環境側面 (原因)	環境影響(結果) 次の記号を該当する欄全てに付けます。 ○…有益な環境影響 ×…有害な環境影響						影響規模 各欄ごと該当区分に○を付けます。 (大)に○が2項目以上→判定結果へ				判定結果	関連法令 その他の要求事項 (名称を記入します)										
		安全な生活環境		自然調和	地球環境	その他		影響の範囲	発生頻度	発生量	市民等要望												
		大気の保全/汚染	水質の保全/汚濁	土壌・地下水の保全/汚染	騒音・振動の防止/発生	悪臭の防止/発生	廃棄物の抑制/発生					人体への危険・感染防止/発生	緑地保全・緑化/森林・緑地の減少	生物種の保護/減少	水辺環境の保全/悪影響	温暖化防止/温暖化(エネルギー)	天然資源の保全/枯渇	オゾン層の保護/破壊	熱帯林の保全/減少	海洋汚染・資源の保全/減少	日照障害・光害	風害・電波障害	有害化学物質
環境関連講座の開催	環境教育 環境意識	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ※ 影響規模の(大)に○が二つ以上なくても、課長が著しいと判断した場合は、「著しい環境側面」となります。影響規模の(大)に○が二つ以上ある場合と同様に、「著しい環境側面(重点管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「重」を、「著しい環境側面(日常管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「日」を、そして「目指せエコな市役所」は「エ」と記載します。
- ※ 「重点管理」は目的・目標を設定し四半期ごとに進捗管理を行い、「日常管理」、「目指せエコな市役所」は半期ごとに進捗管理のみ行います。どちらも「年間計画書」に記載します。
- ※ 確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスマちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。
- ※ この環境記録は部長承認後、各課で保管します。 ※この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。【Filesrv7-share-IS0-年度(各課)-各課】

事業名	新産業クラスター事業 (1/1)							承認	確認	作成	課名	工業課																														
								部長	委任課長※	課長																																
区分 (いずれかに○)	① 定常時 (通常の状態)			2 非定常時 (設備・機器の立上・停止・点検・更新)			3 緊急時 (地震・火災・事故)			作成日	平成28年 5月31日																															
	環境影響(結果) 次の記号を該当する欄全てに付けます。 ○…有益な環境影響 ×…有害な環境影響 影響規模 各欄ごと該当区分に○を付けます。 (大)に○が2項目以上→判定結果へ 判定結果 重点管理(影響規模に(大)が2項目なくても、課長が著しいと判断した場合は「重」、 日常管理は「日」、目指せエコな市役所は「エ」を記載																																									
事務・事業内容	環境側面 (原因)	安全な生活環境						自然調和		地球環境			その他				影響の範囲	発生頻度	発生量	使用量	市民等要望																					
		大気 の保全 /汚染	水質 の保全 /汚濁	土壌・ 地下水 の保全 /汚染	騒音・ 振動の 防止/発 生	悪臭の 防止/発 生	廃棄物 の抑制/ 発生	人体へ の危険・ 感染防 止/発生	緑地保 全・緑 化/森 林・緑 地の減 少	生物種 の保護 /減少	水辺環 境の保 全/悪 影響	温暖化 防止/温 暖化(エ ネルギー)	天然資 源の保 全/枯 渇	オゾン 層の保 全/破 壊	熱帯林 の保全 /減少	海洋汚 染・資 源の保 全/減 少					日照障 害・光 害	風害・ 電波障 害	有害化 学物質	良好な 景観	歴史的 ・文化 的遺産	市民へ の影響	重 大 又 は 広 域 的	中 程 度	軽 微 又 は 局 所 的	恒 常 (毎 日)	月 1回 程 度	年 数回 程 度	多 量	中 程 度	少 量	多 い	中 程 度	少 な い				
																																							(大)	(中)	(小)	(大)
小水力発電システムの開発	自然エネルギーの利用						○	○			○									○				○																		
エネルギー安定供給の検討(LNG)	環境負荷の低減	○										○	○							○	○				○				○													

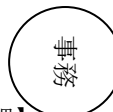
※ 影響規模の(大)に○が二つ以上なくても、課長が著しいと判断した場合は、「著しい環境側面」となります。影響規模の(大)に○が二つ以上ある場合と同様に、「著しい環境側面(重点管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「重」を、「著しい環境側面(日常管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「日」を、そして「目指せエコな市役所」は「エ」と記載します。

※ 「重点管理」は目的・目標を設定し四半期ごとに進捗管理を行い、「日常管理」、「目指せエコな市役所」は半期ごとに進捗管理のみ行います。どちらも「年間計画書」に記載します。

※ 確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスまちづくり推進課長」、

飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。

※ この環境記録は部長承認後、各課で保管します。 ※この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。【Filesrv7-share-ISO-年度(各課)-各課】



事業名	産業用地整備事業 (1/1)				承認	確認	作成	課名	工業課
区分 (いずれかに○)	① 定常時 (通常の状態)	2 非定常時 (設備・機器の立上・停止・点検・更新)	3 緊急時 (地震・火災・事故)		部長	委任課長※	課長	作成日	平成27年 5月15日

事務・事業内容	環境側面 (原因)	環境影響(結果) 次の記号を該当する欄全てに付けます。 ○…有益な環境影響 ×…有害な環境影響											影響規模 各欄ごと該当区分に○を付けます。 (大)に○が2項目以上→判定結果へ								判定結果 重点管理(影響規模に(大)が2項目なくても、課長が著しいと判断した場合は「重」は「重」で「日常管理」は「日」、目指せエコな市役所は「エ」を記載	関連法令 その他の要求事項 (名称を記入します)																			
		安全な生活環境			自然調和		地球環境			その他			影響の範囲	発生頻度	発生量		市民等要望																								
		大気 の保全 /汚染	水質 の保全 /汚濁	土壌・ 地下水 の保全 /汚染	騒音・ 振動の 防止/ 発生	悪臭の 防止/ 発生	廃棄物 の抑制/ 発生	人体へ の危険・ 感染防 止/ 発生	緑地保 全・緑 化/森 林・緑 地の減 少	生物種 の保護 /減少	水辺環 境の保 全/悪 影響	温暖化 防止/ 温暖化 (エネル ギー)			天然資 源の保 全/枯 渇	オゾン 層の保 全/破 壊	熱帯林 の保全 /減少	海洋汚 染・資 源の保 全/減 少	日照障 害・光 害	風害・ 電波障 害			有害化 学物質	良好な 景観	歴史的 ・文化 的遺産	市民へ の影響	重大 又は広 域的 (大)	中 程 度 (中)	軽 微 又 は 局 所 的 (小)	恒 常 (毎 日) (大)	月 1 回 程 度 (中)	年 数 回 程 度 (小)	多 量 (大)	中 程 度 (中)	少 量 (小)	多 い (大)	中 程 度 (中)	少 な い (小)			
		新たな産業団地の整備	環境に配慮した開発						○	○	○												○	○																○	

※ 影響規模の(大)に○が二つ以上なくても、課長が著しいと判断した場合は、「著しい環境側面」となります。影響規模の(大)に○が二つ以上ある場合と同様に、「著しい環境側面(重点管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「重」を、「著しい環境側面(日常管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「日」を、そして「目指せエコな市役所」は「エ」と記載します。
※ 「重点管理」は目的・目標を設定し四半期ごとに進捗管理を行い、「日常管理」、「目指せエコな市役所」は半期ごとに進捗管理のみ行います。どちらも「年間計画書」に記載します。
※ 確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスまちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。
※ この環境記録は部長承認後、各課で保管します。 ※この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。【Filesrv7-share-ISO-年度(各課)-各課】

事業名	産業団地管理事業 (1/1)			承認	確認	作成	課名	工業課
区分 (いずれかに○)	① 定常時 (通常の状態)	2 非定常時 (設備・機器の立上・停止・点検・更新)	3 緊急時 (地震・火災・事故)	部長	委任課長※	課長	作成日	平成27年 5月15日

事務・事業内容	環境側面 (原因)	環境影響(結果) 次の記号を該当する欄全てに付けます。 ○…有益な環境影響 ×…有害な環境影響													影響規模 各欄ごと該当区分に○を付けます。 (大)に○が2項目以上→判定結果へ						判定結果	関連法令 その他の要求事項 (名称を記入します)																	
		安全な生活環境				自然調和			地球環境				その他					影響の範囲	発生頻度	発生・使用量			市民等要望																
		大気 の保全 /汚染	水質 の保全 /汚濁	土壌・ 地下水 の保全 /汚染	騒音・ 振動の 防止/発 生	悪臭の 防止/発 生	廃棄物 の抑制/ 発生	人体へ の危険・ 感染防 止/発生	緑地保 全・緑 化/森 林・緑 地の減 少	生物種 の保護/ 減少	水辺環 境の保 全/悪 影響	温暖化 防止/ 温暖 化(エ ネルギ ー)	天然資 源の保 全/枯 渇	オゾン 層の保 全/破 壊	熱帯林 の保全 /減少	海洋汚 染・資 源の保 全/減 少	日照障 害・光 害			風害・ 電波障 害	有害化 学物質	良好な 景観	歴史的 ・文化 的遺産	市民へ の影響	重大又 は広域 的 中程 度 軽微又 は局所 的	恒常(毎 日) 月1回 程度 年数回 程度	多量 中程 度 少量	多い 中程 度 少ない	日常 管理は 「日」、 目指せ エコな 市役所 は「エ」 を記載	重点管 理(影響 規模に (大)が 2項目 なく ても 課長が 著しい と判断 した場 合を含 む)は 「重」、 目指せ エコな 市役所 は「エ」 を記載									
産業団地周辺の 水質調査	産業排水		×			×	×			×											×		○			○								○					河川法
企業との合同に よる環境作業	環境美化活動								○		○												○				○								重				
エコハウジング ビレッジの整備	住環境整備																																						

※ 影響規模の(大)に○が二つ以上なくても、課長が著しいと判断した場合は、「著しい環境側面」となります。影響規模の(大)に○が二つ以上ある場合と同様に、「著しい環境側面(重点管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「重」を、「著しい環境側面(日常管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「日」を、そして「目指せエコな市役所」は「エ」と記載します。

※ 「重点管理」は目的・目標を設定し四半期ごとに進捗管理を行い、「日常管理」、「目指せエコな市役所」は半期ごとに進捗管理のみ行います。どちらも「年間計画書」に記載します。

※ 確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスまちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。

※ この環境記録は部長承認後、各課で保管します。 ※この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。【Filesrv7-share-IS0-年度(各課)-各課】

事業名	環境技術開発センター運営事業 (1/1)		承認	確認	作成	課名	工業課
区分 (いずれかに○)	① 定常時 (通常の状態)	2 非定常時 (設備・機器の立上・停止・点検・更新)	3 緊急時 (地震・火災・事故)	部長	委任課長※	課長	作成日 平成28年 5月31日

事務・事業内容	環境側面 (原因)	環境影響(結果) 次の記号を該当する欄全てに付けます。 ○…有益な環境影響 ×…有害な環境影響											影響規模 各欄ごと該当区分に○を付けます。 (大)に○が2項目以上→判定結果へ							判定結果	関連法令 その他の要求事項 (名称を記入します)																						
		安全な生活環境			自然調和		地球環境				その他		影響の範囲	発生頻度	発生量		市民等要望			重点管理(影響規模に(大)が2項目なくても、 課長が著しいと判断した場合を含む)は「重」、 日常管理は「日」、目指せエコな市役所は「エ」を記載																							
		大気 の保全 /汚染	水質 の保全 /汚濁	土壌・ 地下水 の保全 /汚染	騒音・ 振動の 防止/ 発生	悪臭の 防止/ 発生	廃棄物 の抑制 /発生	人体へ の危険 ・感染 防止/ 発生	緑地保 全・緑 化/ 森林・ 緑地の 減少	生物種 の保護 /減少	水辺環 境の保 全/ 悪影響	温暖化 防止/ 温暖化 (エネルギー)			天然資 源の保 全/ 枯渇	オゾン 層の保 全/ 破壊	熱帯林 の保全 /減少	海洋汚 染・資 源の保 全/ 減少	日照障 害・光 害			風害・ 電波障 害	有害化 学物質	良好な 景観	歴史的 ・文化 的遺産	市民へ の影響	影響の範囲 重大又は広域的 (大) 中程度 (中) 軽微又は局所的 (小)	発生頻度 恒常(毎日) (大) 月1回程度 (中) 年数回程度 (小)	発生量 多量 (大) 中程度 (中) 少量 (小)	市民等要望 多い (大) 中程度 (中) 少ない (小)													
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○					○	○	○	○	○								
環境配慮型製品の開発支援	環境に配慮した製品開発	○	○	○	○	○		○			○													○																			

※ 影響規模の(大)に○が二つ以上なくても、課長が著しいと判断した場合は、「著しい環境側面」となります。影響規模の(大)に○が二つ以上ある場合と同様に、「著しい環境側面(重点管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「重」を、「著しい環境側面(日常管理項目)」と判定した場合は「判定結果」欄へ「日」を、そして「目指せエコな市役所」は「エ」と記載します。

※ 「重点管理」は目的・目標を設定し四半期ごとに進捗管理を行い、「日常管理」、「目指せエコな市役所」は半期ごとに進捗管理のみを行います。どちらも「年間計画書」に記載します。

※ 確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスまちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。

※ この環境記録は部長承認後、各課で保管します。 ※ この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。【Filesrv7-share-IS0-年度(各課)-各課】

様式 431-3
26.04.01
環境影響評価表(事務事業関連用)

事務

承認	確認	作成	作成日	課名	
部長	委任課長※	課長	平成28年 5月31日	工業課	
法令等名称	主要な要求事項	活動内容	順守評価内容	順守評価該当有無	適用施設名
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処置	事業系廃棄物及び産業廃棄物の排出	契約関係書類の保管(5年間)、産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付と写し保管(5年間)及び県知事への産廃管理票交付状況報告(毎年6/30まで)	有・ <input type="radio"/> 無	
〃	〃	産業廃棄物の保管	産業廃棄物保管場所における廃棄物の適切な保管(分別の徹底、飛散・流出・浸透・悪臭防止措置)	有・ <input type="radio"/> 無	
〃	〃	〃	産業廃棄物保管場所の表示(60cm×60cm)	有・ <input type="radio"/> 無	
〃	〃	特別管理産業廃棄物の適正管理	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	有・ <input type="radio"/> 無	
〃	〃	特別産業廃棄物の保管	特別産業廃棄物保管場所の設置(分別の徹底、飛散・流出・浸透・悪臭防止措置)	有・ <input type="radio"/> 無	
〃	〃	〃	特別産業廃棄物保管場所の表示(60cm×60cm)	有・ <input type="radio"/> 無	
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第一種特定製品からのフロン漏出防止のための適正な管理	業務用冷凍空調機器(エアコン・冷凍・冷蔵機器)の適正管理と点検等の実施	①簡易点検(四半期1回以上) ②定期点検(専門業者) 定格出力7.5kW以上 ・エアコン(1回/3年) ・冷凍・冷蔵機器(1回/1年) ③漏えい時の修理 ④点検・修理・充填・回収の履歴記録と記録保存	有・ <input type="radio"/> 無	簡易点検対象機器のある施設
					定期点検対象機器のある施設
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	特定家電製品の長期使用による排出抑制と適切な廃棄	テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の使用と廃棄	廃棄時における家電リサイクル券の排出者控えの受領・保管(1年)	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
消防法	火災の予防、警戒、鎮火。生命、身体、財産の保護	施設管理	防火管理者の選任	有・ <input type="radio"/> 無	
〃	〃	〃	消防用設備の点検(1回/年)及び結果報告	有・ <input type="radio"/> 無	

〃	〃	〃	避難訓練計画の届出 及び訓練の実施 1回/年又は2回/年	有・ <input type="radio"/>	
法令等名称	主要な要求事項	活動内容	1/2 守評価内容	順守評価 該当有無	適用施設名
消防法	〃	〃	地下タンクの加圧点検 1 回/3年(15年経過後は 1回/年)	有・ <input type="radio"/>	
南信州広域連合 火災予防条例	危険物の基準 に従った貯蔵 及び取り扱い	危険物の保管施 設	灯油タンク等の管理(貯 蔵、取り扱い、届出、自 主点検の実施)	有・ <input type="radio"/>	
浄化槽法 (第10、11条)	排水の適正管 理	浄化槽によるし 尿及び雑排水の 適正な処理	保守点検及び清掃(1回 /年)、指定検査機関によ る水質検査の実施(1回 /年)	有・ <input type="radio"/>	
飯田市環境保全 条例施行規則 (第13条)	揮発油等の適 正処理	油水分離槽の 設置	上郷黒田・飯沼・別府の 区域内における面積100 m ² 以上の駐車施設への 油水分離槽の設置	有・ <input type="radio"/>	
使用済み自動車 の再資源化等 に関する法律(第8 条、73条)	自動車廃棄時 の適正処理	リサイクル料金 の支払い 引取業者への引 き渡し	リサイクル券の保管(自 動車所有時) 引取証明書の保管(自動 車廃棄時)(1年)	<input checked="" type="radio"/> ・無	工業課
				<input checked="" type="radio"/>	
				<input checked="" type="radio"/>	
				<input checked="" type="radio"/>	
				<input checked="" type="radio"/>	

【記載要領】

- ①本表に記載された全ての法令について、必ず「順守評価該当有無」欄のいずれかに○を表示します。
- ②「順守評価該当有無」欄の「有」に○を表示した場合、その法令を適用する施設名を記載します。(一つの法令について、複数の適用施設名の記載可)
- ③「順守評価該当有無」欄の「有」に○を表示した法令は、必ず「順守評価記録書」を作成の上、管理します。
- ④本表に記載のない法令等を特定する場合は、該当法令等を追加してください。(法的拘束力がある法令等は必ず本表へ記載します)
追加した法令等についても、「順守評価記録書」を作成の上、管理します。
- ⑤確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスまちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。
- ⑥この環境記録は部長承認後、各課で保管します。

⑦この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。
【Filesrv7-share-ISO-年度(各課)-各課】

2/2

2/2

承認	確認	作成	作成日		課名
部長	委任課長※	課長	平成28年 5月31日		工業課
法令等名称	主要な要求事項	活動内容	順守評価内容	順守評価 該当有無	適用施設名
例) 飯田市一般廃棄物最終処分場に関する環境保全協定書	公共用水域及び地下に排出される水質の汚染の防止	放流水の水質管理 (最終処分場処理水協定値の順守)	生物化学的酸素要求量(BOD)規制値: 60mg/L以下(毎月測定)	有	最終処分場
例) エネルギーの使用の合理化に関する法律	事業活動における温室効果ガス排出抑制の努力	・エネルギー管理統括者、企画推進員の選任 ・中長期報告書、定期報告書の提出	・エネルギー管理統括者、企画推進員を選任し国へ届出 ・毎年7月末までに国へ左記報告書の提出	有	ムトスマちづくり推進課 (教育委員会所管施設以外)
河川法	第24条の規定に基づく占用許可の条件	排水の水質調査	・毎月実施する ・国土交通省天竜川上流河川事務所へ報告	有	
飯田市環境配慮型製品の認定及び支援に関する要綱	環境配慮型製品の開発、製造及び販売の支援	支援の申し込みに対する審査及び認定	・支援の申し込みを受けて審査を行う ・認定者に支援承諾書を交付する	有	
				有	
				有	
				有	

【記載要領】

- ①様式 432-1、様式 432-2 で特定した法令以外の事務事業関連法令を特定する場合は、本表に記載します。
その際、その法令を適用する施設名を記載します。(一つの法令について、複数の適用施設名の記載可)
- ②本表に記載した法令等は、必ず順守評価を要するため、「順守評価記録書」により管理します。
- ③確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐又は係長)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスマちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。
- ④この環境記録は部長承認後、各課で保管します。
- ⑤この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。

【Filesrv7-share-ISO-1年度(各課)-各課】

承認	確認	作成	作成日	課名													
部長	委任課長※	課長	平成28年 5月31日	工業課													
区分	責任者	実施項目	年間スケジュール														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
①重点管理項目	[事務事業内容] 企業との合同による環境作業 [環境側面] 環境美化活動 [目的] 産業団地の環境美化及び産官連携による環境意識の向上 [目標](何を、いつまで、どの水準) 各産業団地の環境美化活動を、年間通じて、3回以上実施する。	平沢	産業団地連絡会の運営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			産業団地の草刈り		○	○	○	○	○	○							
			災害等への対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
①重点管理項目	[事務事業内容] [環境側面] [目的] [目標](何を、いつまで、どの水準)																
①重点管理項目	[事務事業内容] [環境側面] [目的] [目標](何を、いつまで、どの水準)																
②日常管理項目	[事務事業内容] 環境配慮型製品の審査・認定 [環境側面] 環境意識の向上	木下(裕)	企業への周知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			審査・認定				○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			製品の普及支援							○	○	○	○	○	○		
②日常管理項目	[事務事業内容] 新たな産業団地の整備 [環境側面] 環境に配慮した開発	佐々木	環境関連調査の実施				○	○	○	○	○						
			地元関係者との意見交換	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
目指せエコな市役所		佐々木	ノーマイカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

区 分	責任者	実施項目	年間スケジュール													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
環境影響評価	課長	事務事業進行管理表の作成に併せて検討する。	○	○						○	○					
法令等調査	課長	適用される法令等及び担当法令等の情報収集と点検をする。	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職員教育	課長				○											
一般職員自覚促進	課長							○								
関連団体・物品購入先・供給者への協力要請	該当課長	表 442-2 に該当する団体等へ協力要請する。			○											
法令が要求する有資格者の特定	課長	「法的及びその他の要求事項一覧」に追加する。	○													
環境文書の点検	課長	マニュアル改正を受けて点検をする。		○												
管理手順の作成、点検	課長	新たな管理手順の制定と改正を行う。			○				○							
緊急事態試行	課長							○								
監視・測定	課長		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
測定機器の特定・校正	課長	測定機器を特定し、定期又は必要に応じて校正する。	○	○												
順守評価	課長		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水平展開された処置の実施	課長	水平展開された是正処置及び予防処置を実施する。														
自己チェック	課長	自己チェックシートに記入して担当内部監査員に提出する。				○										

【記載要領】

- ※ 「①重点管理項目」は、目的目標を設定し、四半期ごとに「実行計画管理表」にて進捗管理を行います。
- ※ 「②日常管理項目」は、目的目標を設定しませんが、半期ごとに「実行計画管理表」にて進捗管理を行います。
- ※ 「目指せエコな市役所」は、各課の日常業務等について、環境影響評価を行った結果、「著しい環境側面（重点管理項目又は日常管理項目）」に特定されなかった独自のエコな取り組みを必ず一つ以上記載します。
目的目標を設定しませんが、半期ごとに「実行計画管理表」にて進捗管理を行います。
- ※ 区分中、[事務事業内容][環境側面]は、「環境影響評価表」から転記します。
- ※ 「①重点管理項目」及び「②日常管理項目」の記載に際して、必要に応じて行の追加を行います。
- ※ 確認欄の押印は、作成者が、課長から委任を受けた課長(課長補佐又は係長)の場合は「委任した課長」、自治振興センター所長の場合は「ムトスマちづくり推進課長」、飯田市最終処分場長又は環境課処分場施設係長の場合は「環境課長」が行います。
- ※ この環境記録は、部長承認後、各課で保管します。
- ※ この環境記録は部長承認後、次のフォルダに入れて環境モデル都市推進課に連絡します。

【Filesrv7-share-ISO-年度-各課】

- ※ 年間スケジュール欄の実施月に○、重点となる実施月に◎を付けます。